



山口県
山口市

● YAMAGUCHI WORKATION ●

地域課題解決型



自然と対話しながら 体感する和紙づくり



実施内容

目的

新規事業の可能性やサステナビリティについての理解を深める

内容

和紙の原木の処理、和紙加工体験(90分)
徳地エリア見学(30分)

ご対応者

徳地和紙ワークス(代表 船瀬 春香)

開催地

山口県山口市徳地深谷434-3



コメント

鎌倉時代から約800年受け継がれている徳地手漉き和紙は、山口市の無形文化財でもあります。江戸時代には「防長三白」(※江戸時代に長州藩が特産物として生産を奨励した米、塩、紙のこと)として農民は年貢の代わりに紙を漉き、長州藩の財源となっていました。しなやかな強さ、美しさが特徴です。



代表者ご紹介

代表 船瀬 春香 徳地和紙ワークス

父親が転勤族だったため全国各地で暮らし、自身も引越マニア。社会人になってからの20年間は、東京で英語教育や開発途上国支援等の仕事に携わった。クリエイティブな仕事への憧れから徳地和紙の世界に飛び込んで7年。原木栽培、紙漉き、製品開発など未知の挑戦が続いている。